（公財）生命保険文化センター

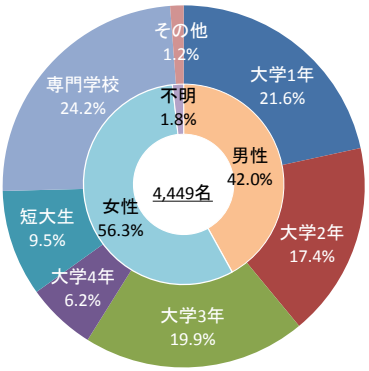
平成27年度「生命保険実学講座」受講生アンケート集計結果（大学・専門学校）

（公財）生命保険文化センターでは、講座内容の更なる充実を図るため、実学講座の受講生の皆さんに、アンケートにご協力頂いています。平成27年4月～平成28年3月末までのアンケート結果をご紹介します。

【アンケート回答者数：4,449名】

大学1年	960	短大生	421
大学2年	774	大学院	0
大学3年	887	専門学校	1,077
大学4年	278	その他	52

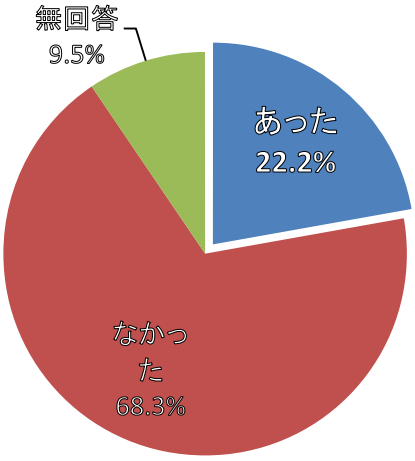
男性	1,868	女性	2,503	不明	78
				合計	4,449



●大学・短大・専門学校など、幅広い層を対象に実学講座を行っています。

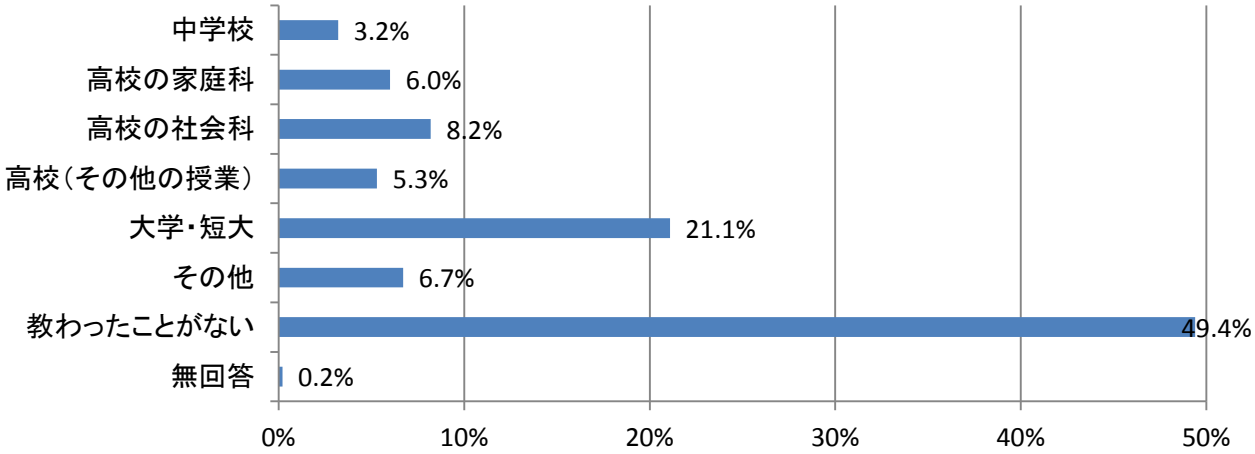
受講前の状況について

Q1.今までに生活設計（夢・目標、職業・収入など）について考えたことはありましたか？



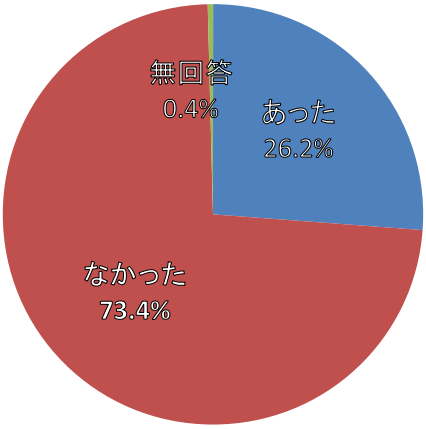
●受講生の約7割が、受講前には生活設計について考えたことがなかったようです。

Q2.今までに生命保険について教わったことはありますか？（複数回答可）



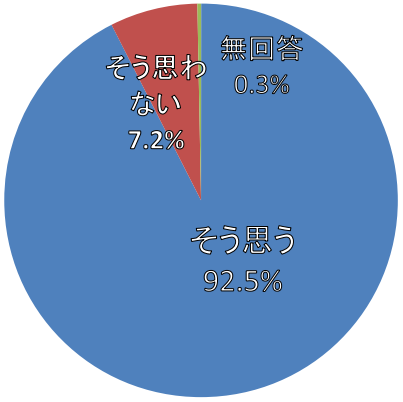
●半数近くの受講生にとって、本講座が初めて生命保険について学ぶ機会となっているようです。

Q3.あなたは生命保険について関心はありましたか？



●受講生の約7割が、受講前には生命保険に関心を持っていなかったようです。

Q4.生活保障（万一の際や病気・ケガ、介護、老後の経済的備え）は、国の保障に加え自分で準備することが必要だと思いますか？

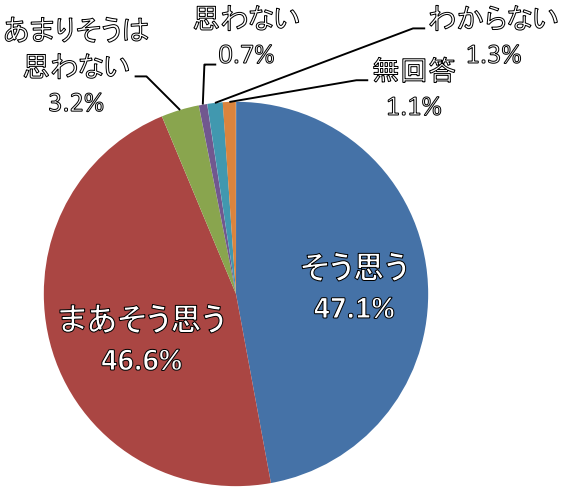


※1：自分で努力して備えるので、国はそのための支援をしてほしい。
※2：社会保険料や税金を払ってもよいので、国は保障を充実してほしい。

●受講生の約9割が自助努力の必要性を感じているものの、そのうち約半数が社会保険料や税金を払ってでも国の保障を充実させてほしいと考えているようです。

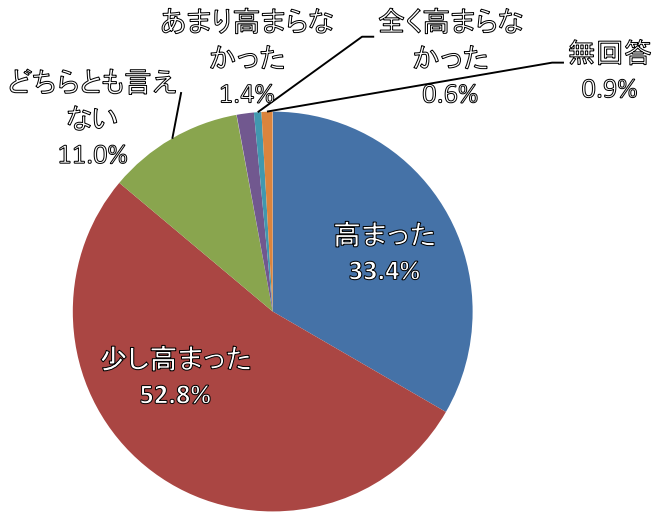
受講後の感想について

Q5.本講座を受講して自身の生活設計（夢・目標、職業・収入、リスク管理）について考えてみようと思いましたか？



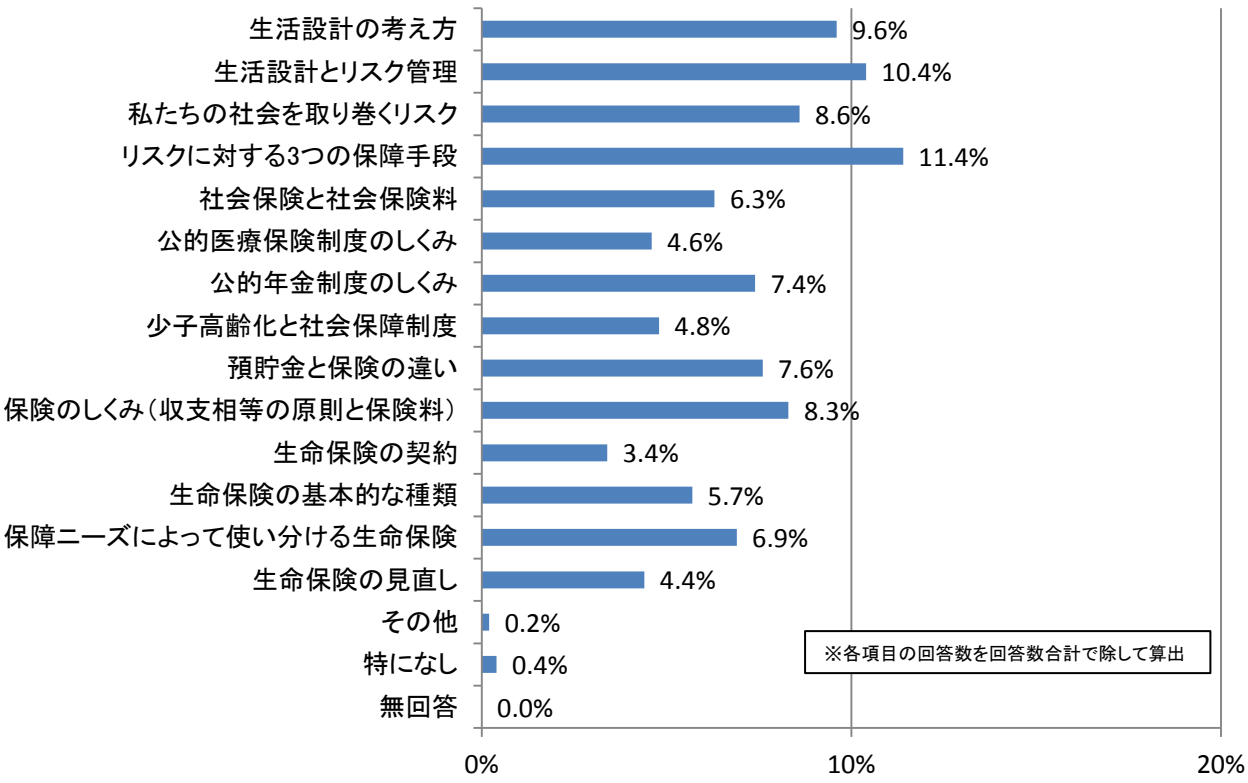
●受講生の約9割にとって本講座は生活設計を意識するきっかけとなったようです。

Q6.本講座を受講して生命保険についての関心は高くなりましたか？



● 8割以上の受講生にとって、実学講座は生命保険への関心を高めるきっかけとなったようです。

Q7.本講座で興味深かった項目は何ですか？（4つまで選択可）



●「リスクに対する3つの保障手段」への関心が最も高く、次に「生活設計とリスク管理」となっています。